

第2期

清流の国ぎふ

概要版

スポーツ推進計画

(計画期間:令和4年度から令和8年度)

誰一人取り残されない
スポーツ立県・ぎふ



第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画とは

計画の役割

- 岐阜県のスポーツ推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な事項とその他必要な事項を定めます。
- 県民がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画することを支援し、競技団体、学校、市町村、県及びスポーツに関係するあらゆる団体がそれぞれの立場でスポーツに関する活動を行うための指針となるものです。

策定の趣旨

- 「清流の国ぎふスポーツ推進計画(H27～R3)」(以下、「第1期計画」という)の計画期間満了に伴い、これまでの成果を踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症による影響を含めた社会状況の変化に対応するため、策定しました。

計画の期間

- 令和4年度から令和8年度までの5年間の計画です。

第2期計画のポイント

①第1期計画で顕在化した課題を解決!

・低調なスポーツ実施率を底上げ

岐阜県における成人の週1回以上のスポーツ実施率は全国の数値と比較して低調です。また、特に働く世代・子育て世代で、その傾向が顕著です。

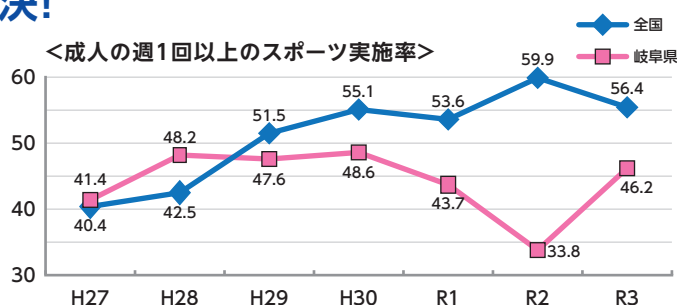
・児童の体力低下・スポーツ離れへの対応

令和3年度全国体力等調査における岐阜県の全国順位は小中学校男女ともに低下しました。また、スポーツ少年団・運動部活動加入率も低下傾向にあります。

・「ぎふ清流国体(H24)」時の競技力維持

・パラスポーツ未実施者への参画機会確保

・県有スポーツ施設の利便性向上、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化



②東京2020オリンピック・パラリンピックの成果を継承・発展!

・パリ大会を目指す選手を支援

第1期計画では、東京2020大会に向けた競技力向上に取り組み、岐阜県ゆかりの選手が、オリンピックには目標30名に対し32名が出場、パラリンピックには目標10名に対し9名が出場しました。

・合宿誘致、ホストタウン登録を契機とした交流の継続

東京2020大会では、計4カ国250名の海外チームが、岐阜県で事前合宿を行いました。

③スポーツを取り巻く社会状況の変化に対応!

・コロナ禍で減少したスポーツ機会・心身の健康確保

・学校の働き方改革を背景とした部活動の円滑な地域移行

・SDGs「すべての人に健康と福祉を」等への貢献

・アナログとのバランスをとりながら DX の活用 等



目指す姿

第2期計画では、これまでの取組みをさらに深化しつつ、スポーツを通じた県民の心身の健康の保持増進をより一層推進することが必要と考え、「すべての県民がスポーツの持つ力の恩恵(健康と生きがい)を得られる岐阜県」を目指します。

基本目標

誰一人取り残されない※スポーツ立県・ぎふ

子どもから高齢者まであらゆる世代の県民が、それぞれの関心、適性等に応じて、多様なスタイルでスポーツを楽しみ、スポーツの持つ力で生涯にわたり健康と生きがいを得られる「清流の国ぎふ」の実現

計画推進の考え方

○ 基本目標の実現に向け、5つの柱で計画を推進します。

- I 生涯にわたる健康と生きがいづくりのスポーツ推進
- II 世界や全国を目指すアスリートの競技力向上
- III 障がい者の活躍を広げるパラスポーツの推進
- IV 地域資源を活かしたスポーツによるまちづくり
- V 誰もが楽しめるスポーツ環境の整備



※2015年9月、国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す「SDGs(持続可能な開発目標)」の誓い「誰一人取り残されない(no one will be left behind)」から引用しています。



(c)Kaz Photography/FC GIFU



飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア

I 生涯にわたる健康と生きがいづくりのスポーツ推進

県民のスポーツ参加を一層促進するため、令和7年度の「ねんりんピック」の開催に向けたスポーツ・レクリエーションを推進しつつ、県民参加を広げるスポーツ環境づくりを展開するとともに、生涯スポーツの基盤となる施策を継続していきます。

また、県民の身近にある「地域スポーツ」と、子どもの心身の育成や体力向上に重要な役割を担う「学校体育（体育の授業や運動部活動等）」を、「生涯スポーツ」として一体的に推進することで、学校と地域が連携し、子どもたちのスポーツ機会を確保するとともに、学校卒業後も円滑に地域でスポーツを続けられる環境整備を推進します。

施策目標

成人の週1回以上のスポーツ実施率 65%

<KPI※>

- 「ミナレク運動」の推進
 - ・ レク指導者派遣件数 …………… 【年間365回】
- 県民参加を広げるスポーツ環境づくりの展開
 - ・ 「スポーツポイント」の参加者数 …………… 【年間12,000名】
- 人材の育成・確保
 - ・ 指導者バンクの登録者数 …………… 【1,000名】

※Key Performance Indicator の略、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことで、本計画では計画期間中に達成を目指す数値を掲載しています。

主な施策

1. 「ねんりんピック」の県内開催に向けたスポーツ・レクリエーションの振興

- 「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」の開催及び「ミナレク運動」の更なる推進
- 「ぎふ清流レクリエーションフェスティバル」の毎年開催



2. 県民参加を広げるスポーツ環境づくりの展開

- 運動・スポーツ好きな幼児を育成するプログラムの全県展開
- 教員の資質・指導力向上やICTの活用による学校体育の充実
- 働き方改革を背景とした部活動改革とスポーツ機会の確保の両立
- 学校外での子どものスポーツ環境の整備に向けた総合型地域スポーツクラブの育成



新 アプリを活用した「スポーツポイント」の導入

新 いつでも気軽に参加できるオンラインウォーキングイベントの開催

新 多様なスタイルに対応できるスポーツ情報サイトの構築

○ 毎年開催される「ねんりんピック」への選手派遣の継続

新 県内で活動するトップチームが連携して行うスポーツイベント等の開催支援

○ 障がいのある人もない人も共に参加できる「長良川ふれあいマラソン大会」の継続

新 民間データを活用した地域毎のスポーツ実施状況の分析



3.生涯スポーツの基盤となる施策の継続

○ 運営基盤に課題を抱える総合型地域スポーツクラブへの支援や、総合型地域スポーツクラブ間・他団体との連携強化

○ 各地域のスポーツ推進委員が地域のスポーツ団体と連携して取り組む活動への支援

○ スポーツ、レクリエーションに関わる指導者やボランティア等の人材の育成・確保

新 公益財団法人岐阜県スポーツ協会が運営する「スポーツリーダーバンク」への指導者登録及びスポーツ団体等とのマッチングの推進

○ WEBサイト・YouTubeチャンネルやSNS、メディア等を活用したあらゆるスポーツ情報の発信



Ⅱ 世界や全国を目指すアスリートの競技力向上

「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」から受け継ぎ、東京2020大会でも成果をあげた競技力の向上について、引き続き注力していくとともに、次世代アスリートの発掘・育成・強化や次世代を担う指導者の養成に重点を置いた施策を推進します。

また、東京2020大会のレガシーとして、有用性が認められた医・科学サポートを継続します。

施策目標

国民体育大会における天皇杯・皇后杯 **15位**
 オリンピック競技大会への出場選手数 パリ2024大会 **25名**
 ミラノ・コルティナ2026冬季大会 **5名**

<KPI>

- 指導者の養成
 - ・ 全国トップレベル指導者の年間を通した招聘
 - ・ 指導者資格「コーチ3、4」取得 …………… 【各年間5名(5競技団体)】
- 次世代アスリートの発掘・育成・強化
 - ・ 「ジュニアアスリート育成プロジェクト」を通じて適性に応じた競技に取り組んでいる割合 …………… 【50%】

主な施策

1. 次世代アスリートの発掘・育成・強化

- 競技団体が独自で取り組むジュニア選手の強化指定、練習会や合宿・遠征などの活動支援
- 日本一を獲得できる、または目指すことができる高校部活動の重点的強化
- 「ジュニアアスリート育成プロジェクト」の充実



2. 日本一を目指す指導者の養成

- 年間を通した全国トップレベルの指導者の定期招聘の支援
- 全国レベルで活躍する若い指導者に対する上級指導者資格の取得支援
- 競技団体と連携した指導者リストの作成による指導者の把握と適正な活用



3.日本一を目指す選手・チームと競技団体への支援

- 日本一獲得やパリ大会出場を目指す等の選手・チームへの重点的強化支援
- 「岐阜方式※」で設立したクラブチーム等への強化支援
- 県内から選手を発掘・育成する一貫した指導に取り組む競技団体への活動支援

※複数の企業が選手を雇用してクラブチームの活動を支える方式



4.競技力向上に向けた環境の整備

- 岐阜県スポーツ科学センター及び御嶽濁河高地トレーニングセンターの運営体制や機器等の維持・充実
- 科学サポートのデジタル化の推進
- トップレベルで活躍する選手や指導者が県内を拠点に活躍できる環境の整備
- 県有施設の管理者や県立学校による柔軟な練習環境の確保
- 競技用器具の性能が試合結果に大きく影響する競技団体等への計画整備の支援



5.アーバンスポーツなど新たな競技への対応

- アーバン(都市型)スポーツでオリンピック出場を目指す選手の支援、「身体運動の伴う仮想(バーチャル)スポーツ」への対応の検討

6.トップアスリートに関する情報発信

- SNS等によるトップアスリートの情報や競技成績などの発信



Ⅲ 障がい者の活躍を広げるパラスポーツの推進

パラスポーツの拠点である「岐阜県福祉友愛プール」「岐阜県福祉友愛アリーナ」を活用しつつ、パラスポーツを楽しんでいただく機会を提供するなど、パラスポーツの一層の裾野拡大を図ります。

また、東京2020パラリンピックで成果のあった医・科学サポートを充実・強化し、国際大会で活躍できる選手輩出に向けた競技力向上を、引き続き推進していきます。

施策目標

スポーツを行う障がい者の裾野の拡大とパラアスリートの育成・強化

<KPI>

- 裾野拡大
 - ・ パラスポーツ教室開催数・参加者数 ……………【年間39回・900名】
- 競技力向上
 - ・ パラリンピック出場選手数 ……………【パリ2024大会 10名】
 - ……………【ミラノ・コルティナ2026冬季大会 5名】
 - ・ 日本代表選手数 ……………【25名】

主な施策

1. 裾野の拡大

- パラスポーツ教室の実施
- パラスポーツ教室に関し、障がいのある人もない人も参加できるイベント等におけるPRの実施や、障がいのない人も参加できる機会の創出
- 「全国障害者スポーツ大会」への選手団の派遣及び強化支援



■ 障がいのある人もない人も参加できる「パラスポーツフェスタ(仮称)」の各圏域での開催

2. 競技力の向上

- デフリンピック競技の有力選手への強化指定
- 「岐阜県スポーツ科学センター」へのパラアスリート専任研究員等の継続配置
- トップアスリートを目指す選手の大会・合宿参加、用具購入費の支援
- 全国トップレベルのパラスポーツ指導者招聘の支援



■ 健常者競技団体の指導者に対する初級障がい者スポーツ指導員の資格取得支援及び選手とのマッチングのサポート

○ パラスポーツ競技団体の設立準備、設立後の運営費の支援

■ 持続可能な組織運営のための研修会の開催



3. パラスポーツを支える環境づくり

○ 一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会の運営体制及び関係団体との連携の強化

○ 初級障がい者スポーツ指導員の養成及びパラスポーツ教室への派遣

○ ぎふ清流福祉エリア内の各施設と連携した「岐阜県福祉友愛プール」「岐阜県福祉友愛アリーナ」の利用促進



■ 総合型地域スポーツクラブが取り組むパラスポーツプログラムの実施を支援

○ 特別支援学校体育連盟が行う「特別支援学校ふれあいスポーツ事業」の開催支援

4. パラスポーツやパラトップアスリートに関する情報発信

■ 県内の準トップ選手等が、東京2020パラリンピックに出場した県ゆかりの選手から学ぶ機会の創出

○ 多くの県民が観戦する健常者の競技大会にパラ種目を追加する取組みの推進



岐阜県福祉友愛プール



岐阜県福祉友愛アリーナ

IV 地域資源を活かしたスポーツによるまちづくり

東京2020大会での合宿実績を活用しつつ、県内スポーツ施設における合宿誘致や全国・国際的な大規模スポーツイベントの誘致・開催を推進するほか、県内トップチームがその知名度を活かし、連携して取り組む地域貢献活動を支援するなど、県が誇るスポーツ資源を活かしたスポーツによるまちづくりを推進します。

施策目標

地域が自らの資源(スポーツチーム、スポーツ競技、自然、住民活力等)を活かしたスポーツによる地域振興に取り組む

<KPI>

- 地域住民の健康・生きがい、絆づくり
 - ・「スポーツ振興まちづくり補助金」の交付を受けて開催される県内スポーツイベントの年間県民参加者数 ……………【延べ25,000名】
- 地域ブランドの確立と交流人口の拡大
 - ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア利用者数 ……………【年間延べ30,000名】

主な施策

1.地域住民の健康・生きがい、絆づくり

【新】 県内で活動するトップチームが連携して行う活動PR等への支援

- 東京2020大会ホストタウン登録を契機とした各国との交流
- オール岐阜によるFC岐阜への支援



2.地域ブランドの確立と交流人口の拡大

【新】 「世界パラ陸上競技選手権大会(神戸市)」に向けたカナダ代表チームの事前合宿誘致

- 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアにおける合宿誘致や積極的なPRの推進
- 「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」等の魅力あるスポーツイベントの継続開催

【新】 多くの県民が参画するスポーツイベントの開催・誘致に取り組む市町村、競技団体への支援

3.東京2020大会をきっかけとした本県の魅力発信の継続

【新】 東京2020大会で発信してきた本県の魅力(食、モノ、文化など)の磨き上げ及び国際見本市への出展等の積極展開

4.スポーツによるまちづくりを推進する情報発信

【新】 WEBサイトによるスポーツ資源を活かした地域の取組み等に関する情報発信



V 誰もが楽しめるスポーツ環境の整備

県有スポーツ施設について、老朽化対策を講じながら、県内スポーツ施設の先導的な役割を果たす中核施設としての機能を維持しつつ、キャッシュレス決済の導入や高速通信環境の整備、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化を推進していきます。

また、スポーツにおける暴力やハラスメントの根絶に向けた相談体制や、アスリートの健康問題に対応できるサポート体制等、安心してスポーツを楽しめる環境を整備します。

施策目標

多くの県民が集えるスポーツ施設の整備・充実と健全なスポーツ活動を支える体制づくり

<KPI>

- 県有スポーツ施設の整備
 - ・トイレの洋式化率【85%】、照明のLED化率【70%】
- 安心してスポーツを楽しめる環境整備
 - ・暴力・ハラスメント根絶に向けた研修に参加した指導者数 ……………【年間600名】



主な施策

1. 県有スポーツ施設の整備

- バリアフリー・ユニバーサルデザイン化等の推進
- 県内スポーツ施設の先導的役割を果たす中核施設としての高水準機能の維持
- 新 キャッシュレス決済の導入などICT活用による利便性の向上及び大会等のオンライン配信を可能とする高速通信環境の整備
- 地域需要のある施設(屋内プール、屋内スケートリンク、アーバンスポーツ施設等)の新設の継続検討



岐阜メモリアルセンター(長良川競技場)



岐阜県グリーンスタジアム

2. 安心してスポーツを楽しめる環境の整備

- 暴力・ハラスメントの根絶に向けた指導者研修の実施
- アスリートの健康の確保に向けた、「岐阜県スポーツ科学センター」への相談窓口の設置及び指導者向け研修会の開催
- 県有スポーツ施設における新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知 清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創 ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議



第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画

概要版

令和4年3月策定

「第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画」の全文は、岐阜県のホームページに掲載されています。

ぎふ スポーツ推進計画

問い合わせ先

岐阜県 清流の国推進部 地域スポーツ課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL 058-272-8799 / FAX 058-278-2604

E-mail c11172@pref.gifu.lg.jp